

## 校長研修だより53

### 職員室の先生方へのお願い①

～全体・同学年・同教科でのOJT～

2022・5・7 重枝 一郎

GWも明け、生徒達も久しぶりにワクワクしながら登校してきたと思う。先生方は、生徒の喜ぶ顔を想像しながら教材研究等をしていると思う。いつも「**今がチャンス**」と**思うことは大切である**。また、1学期分を見通して準備をすることも大事である。

先生方の4月は、初めての生徒たちとの出会いに、先生方の緊張感、喜びの空気が職員室全体を支配する。ここまでは、新しい環境の中、慣れない仕事や会議をこなすだけでも、右往左往したと思う。いつもその後に控える様々な行事の数々、「あれもこれも、何から手を付ければいいのか」と不安と焦りが募ってくる。でも、それでいい。どこの学校の先生方もみな同じ状況であり、不安でいっぱいである。加えて、様々な変化がある今の教育現場では、キャリアのある先生方も大きな不安をかかえて過ごしている。本校が他校と違うのは、みんなで助け合えるチームであるということである。こんなチームだからこそ大事なのは、**失敗を恐れない**ということである。最初から、うまくできるとは、周囲の誰も考えていない。自分で考えて、これならできると思ったことから実行に移すことが大事である。

**青春とは、何もかもが実験である。**（スチーフンソン）

まずは、誰でもいいから職員室に新風を吹き込む。**元気な挨拶**から一日をスタートさせていこう！

**職員室の先生方へお願い** 年度初め少し落ち着いたら・・・※ 校内 OJT

- ◎ **全体・・・教科の壁、学年の壁を越えて、授業参観できるようにする。**あとで授業指導上のポイントなど話すのもいいと思う。事前に一言許可はとる。よろしくご協力をお願いいたします。
- ◎ **同学年・・・学活・総学などの授業交流や時々担任交流などするのもいい。**生徒指導などの理解が深まり、気づいたことや今何に気をつけておかななくてはいけないのかなど机上のことではない、日々の生活の中での「その時、その場」で感度のある話ができる。
- ◎ **同教科・・・教育活動の原点は授業力の向上にある。**生徒の実態に合わせて、いかに専門的な内容をわかりやすく学びにつなげられるか、**その実践交流を気軽に行ってほしい。**お互いの自信へと結びつく、試行錯誤のかなう教科内研修になる。

※ OJT: On-the-Job Training (やってみせる・説明/解説する・やらせてみる・評価/指導する)

※ なにより、生徒たちは共に学ぶ先生方の姿に共感し、自らの**学びの姿勢**をつくっていく。焦って完璧にやろうとすると、生徒たちは窮屈さを感じる。学びの楽しさとは何かを追い求め、生徒と一緒に**つくっていく**という心の余裕があるといいと思う。